

特別講演 1

「夜間頻尿の疫学と治療の UPDATE

—特に高血圧に注目して—

福井大学医学部器官制御医学講座 泌尿器科学教授

横山 修 先生

高血圧、糖尿病、高脂血症などのメタボリック症候群の危険因子の数が多いほど下部尿路症状を訴える頻度も高いと報告されている。中でも QOL に一番影響するのが夜間頻尿であり、日本全体では、4,500 万人が夜間 1 回以上トイレに行くと言われている。われわれは「過活動膀胱と高血圧に関する治療実態調査」(OASIS Project) を立ち上げ、特に夜間頻尿と高血圧との相関について全国レベルの調査を行ってきた。その結果、2 回以上トイレに行く患者の 67% が夜間多尿であり、特に女性では高血圧との関係が強いとの結果であった。では降圧薬は夜間頻尿に有効か、使い分けはできるのか、抗コリン薬や睡眠薬はどうか、などの疑問も出てくる。先生方とともに考えてみたい。